東京都立武蔵高等学校
同窓会事務所
〒180-0022
武蔵野市境1-3-4
エーブル武蔵境203
Tel & Fax 0422-27-7571

武蔵 57

2022.5.20



【虎娘】オリジナルキャラクター（2022年干支年賀状）
高田明美さん（25回B組）の作品
（キャラクターデザイナー、イラストレーター、時々ジュエリーデザイナー）

2022年度同窓会総会・アトラクションの開催とライブ配信のお知らせ

日時：2022年6月11日（土）
総会：13時より
アトラクション：岡部直士さん（23A）
講演「北京2022オリンピックに想う」
会場：武蔵野スイングホール南棟 11階「レインボーサロン」
※今年の総会及びアトラクションは「ライブ配信」でも視聴できます。
懇親会・ホームカミングデイは中止いたします。

令和3年度卒業（74回生）新幹事

A組 [redacted]
B組
C組
D組
E組

コロナ時代、青春の絆こそ人生の手がかり――同窓会の役割

東京都立武蔵高等学校同窓会　会長　土屋正忠



2020年2月、ダイヤモンド・プリンセス号が日本の新型コロナ感染の始まりでした。以来、2年数カ月が経過し、日常の景色が大きな変化を遂げました。

人々はマスクが必需品となり、勤勉なサラリーマンも大半は自宅で過ごし、パソコンと向き合う日々です。小・中学校はまだしも、大学教育はリモート授業で、まだ大学キャンパスに1～2回しか登校していない入学生もいます。学生生活には不可欠のゼミやサークルでの出会い、理想や未来について語り合う機会が極端に減少しています。

ゴリラの研究を通して、世界的な文化人類学者の前京都大学総長の山極壽一氏は、動物と人間を隔てる根本的違いを、群れの中における「同調能力・社交」だと指摘しています。家庭、通勤途上での出来事、会社と他会社との関係、アフターファイブの居酒屋やスポーツや音楽会、そして家庭に戻る。一日のうち、様々な群れを渡り歩き、適応する能力こそが高度な社会を作り上げた人間の原動力だと指摘し、リモートだけでは達成できないと主張しています。

母校、都立武蔵高校生がリモート時代に知識・情報をリモートで得たとしても、クラスの活動や部活・共同研究・他校との交流など様々な体験を通じて、人間としての幅と奥行きを拡げ、青春の一刻を人生に立ち向かう成長の場としてほしいと願っています。

私たち同窓生の総数は2万6000人を超えました。この春巣立った180名の若者から、昭和15年の混乱期に母校で青春を過ごした第1回生100歳になんなんとする同窓生もご健在です。2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻に、80年前の在校時代を重ね合わせておられるのでしょうか。

世の中が大きく揺れる中で、15～18歳までの人間としての人格形成の時代に共に学び、語り、競い、励まし合った青春の絆こそ人生の手がかりであり、出発点です。

同窓会の役割は同窓生のネットワークを支えることであります。同時に、現役生が心身ともに育ち、巣立ちゆくよう出来る限りの支援を行おうではありませんか。

人生100年時代。改めて同窓生の皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、ご挨拶といたします。

2022年度　同窓会総会・アトラクションのお知らせ

今年の同窓会総会は令和4年（2022年）6月11日(土)、武蔵野スイングホールのレインボーサロン（南棟11階）で昨年同様に感染防止対策を講じ開催します。新型コロナウイルス感染状況はワクチンの接種も進み、明るい兆しが見えてきましたが、会場はまだ飲食（パーティー）の禁止など規制があり、懇親会（ホームカミングデイを含む）は今年も行いません。（ホームカミングデイ該当の34回生有志のコメントを本紙P8、9と同窓会ホームページに掲載しています。）

昨年同様、同窓会・アトラクションの中継を世界に向けて生配信いたします。同窓会終了後にホームページ上に総会とアトラクションの動画を分けて掲載しますので時間の取れない方はそちらをご視聴ください。

総会では、2021年度事業報告・決算報告、2022年度事業計画・予算案を審議します。

○日時: 令和4年（2022年）6月11日（土）
○場所: 武蔵野スイングホール・レインボーサロン（南棟11階） 東京都武蔵野市境2-14-1
○会場受付開始: 12時
○総会:　　13時～
○アトラクション:　13時45分～（15時までに終了）《講師岡部直士氏（23A）「北京2022オリンピックに想う」》
○生配信（予定）: 13時～15時
○アクセス: JR中央線武蔵境駅北口下車西へ徒歩2分

※生配信: 東京都立武蔵高等学校同窓会ホームページのトップページより視聴可能　ホームページ　http:musashi-dosokai.com ➡

今年のアトラクション

《講演 北京2022オリンピックに想う》

講師: 公益財団法人全日本スキー連盟　副会長　岡部直士氏(23A)



折しも今年2月4日から20日まで“北京2022オリンピック”が開催され、当時私は1月30日より全日本スキー連盟の役員代表として当地に行く予定になっておりましたので“スキーやスノーボードと北京オリンピックの話なら”と思い、講演を承諾しました。総会当日は、スノースポーツ全般と全日本スキー連盟並びに東京都スキー連盟の事業内容そして北京オリンピックに於いて発覚した様々な問題(ジャンプ複合団体での高梨沙羅選手失格問題、スノーボードハーフパイプでの平野歩夢選手ジャッジの問題など)についてその真相と究明と対応を交えて講演させて頂きます。

《岡部直士氏プロフィール》

☆職業 株式会社ヤマヲ代表取締役社長
☆最終学歴 立教大学経済学部経営学科(現経営学部)
☆主な団体職
・公益財団法人全日本スキー連盟副会長
・一般財団法人東京都スキー連盟会長(資格:全日本スキー連盟/正指導員並びに検定員)
・一般社団法人東京都食品衛生協会副会長・東京都立川食品衛生協会会長(多摩立川保健所管内)
・租税教育推進協議会座長(立川税務署管内)・前立川市サッカー協会会長

2021年度 同窓会総会報告

昨年まだCOVID-19感染の収束が見通せない中、6月6日(日)13時より第75回同窓会総会及びアトラクション(懇親会/ホームカミングデイは中止)を武蔵野スイングホール11階レインボーサロンで2年ぶりに参加人数を最小限(約30名)に抑えさせていただき行いました。

また新しい試みとして全国及び世界に向け同窓会総会アトラクションをオンラインで生配信を行い、生配信視聴には108名、その後1週間で約900名近くの方の視聴を確認することができました。

総会においては令和2年度事業報告、決算・監査報告、及び令和3年度予算案、事業計画案が提出され、すべてが承認・可決されました。なお昨年度は役員改選の年でしたが、役員選考委員会ができなかったため学校長推薦の監査以外の右記の通り現役員留任の提案がされ承認されました。



総会風景

会長: 土屋正忠(12C)　副会長: 古田土一雄(15A)・渋江芳浩(24F)・濱中義豊(54B)・木下伸子(13G)
会計監査: 都立武蔵高等学校副校長 津野雄彦(新任)・一柳直信(7E)・高木牧子(17F)


小田部羊一氏(7E)

総会後には日本のアニメーターの草分け的存在である小田部羊一氏(7E)に「仕事・・・そして人生を語る」という演目で講演をしていただきました。講演動画は暫く同窓会ホームページにアップされていますので、右のQRコードからご視聴ください。また、一昨年及び昨年も開催できなかった「ホームカミングデイ」の代わりとして、同窓会ホームページ上に第32回生・第33回生及び第52回生・第53回生の「お便りコーナー」を設け有志の方々の近況報告を掲載させていただいています。

2021.6/6(日)開催同窓会総会(2021年度)&アトラクション「ライブ配信」アーカイブ➡

都立武蔵高等学校創立80周年記念式典報告

同窓会長　土屋正忠

母校の80周年記念式典が昨年（2021年）11月12日（金）武蔵野市民文化会館で挙行され、同窓会長として出席、祝辞を述べました。

コロナ禍なので生徒と教職員中心で、来賓は同窓会長とPTA会長他に限定され、学校の設置者である東京都教育委員会からの来賓もなしという簡素な式典でした。記念式典の概要を報告します。

参加者は生徒883名（中学生399名・高校生484名）、教職員61名、来賓3名、合計947名でした。

式典の後には、生徒による教育活動実践発表が行われました。

（1）「コメ由来のプラスティックの現状と普及」
（2）「すべての人が水を手にするには」
（3）「マークで分かる優しい牛」
（4）「マスクごみと環境破壊の関連性」

各々、地球環境と持続可能な成長という考えをテーマにした充実した内容でした。特にコロナ禍にあって、2020年は130億枚の水に溶けない不織布マスクが使用され、一部が捨てられ、やがて海にという指摘は強く印象に残りました。完全な回収、適正な廃棄を現役生徒に学んで心がけましょう。






創立80周年を記念して
演台・花台カバーを贈呈

同窓会は創立80周年を記念して、母校に写真のような演台・花台カバーを贈呈しました。




創立80周年記念誌をいただきました

記念式典の様子やこの10年の歩み、学校の沿革などの資料が掲載されている90ページ余りの記念誌です。同窓会の活動紹介と この10年の活動についても掲載されています。閲覧を希望される方は同窓会事務局にご連絡ください。



在校生の活躍

国際物理オリンピックで銀メダルを受賞しました!!

高校3年（2022年3月卒業）　村山　一央（むらやま　いお）

私は、昨年リトアニア主催で行われた、第51回国際物理オリンピックに日本代表として参加しました。国際物理オリンピック（IPhO）は、理論試験（5時間）、実験試験（5時間）の2つの試験で争われる国際的なコンテストです。1週間の大会期間中は、試験のみならず、選手同士の交流イベントも多数設けられています。今年はコロナ禍のためオンライン開催となりましたが、世界中の高校生と競い合い、交流できたことはとても貴重な経験になりました。

私が本格的に物理学に取り組み始めたのは高校2年生の時です。小さいころから簡単な物理おもちゃを作って遊んだりしていたこともあり、数ある科学オリンピックの中でも物理オリンピックに挑戦することにしました。選考に向けて勉強を進める中で、自然と物理への理解が深まり、その奥深さに惹かれていきました。↗（5ページへ）

日本代表に選ばれてからは、過去のオリンピックの問題を中心に演習を重ねました。物理オリンピックでは、試験時間が長い分、自ら立式し、適切に処理・近似して答えを導くことが求められます。演習を始めた当初はどこから手を付けてよいか分からず、苦労したのをよく覚えています。時には他の代表選手とも教え合いながら、大会に向けて準備を進めました。


銀メダルを掛ける村山さん

そしてオリンピック本番。今年は日本代表選手全員が八王子のセミナーハウスに集まり、リモートで大会に挑みました。実験試験では、大会側から送られてきた実験用タブレットのバッテリーが試験開始後2時間後に切れるというハプニングがあり、試験終了時には夜中の12時を過ぎていました（笑）。「5時間の試験」と言われると長く感じますが、いざ始まってしまうと本当にあっという間でした。理論、実験ともに手強い問題もありましたが、今まで地道に積み重ねた努力の成果を、存分に発揮することができたと思います。（今年の理論問題は、海嶺のモデルと地震波、静電レンズ、量子化学、BEC凝縮をテーマに出題されました。実験試験では電気回路とタブレットが与えられ、非線形コンデンサ、LED電流の電圧・温度依存性をテーマにした課題に取り組みました。）

結果は銀メダルで、惜しくも金メダルを取ることはできませんでしたが、好奇心であふれるたくさんの同世代の仲間と競い合った経験は、私にとって何ものにも代えがたい財産です。銀メダルを頂くことができた喜びと共に、自然科学への興味はますます強くなりました。物理オリンピックで得たつながりを大切にして、これからも色々なことに挑戦していきたいと思います。最後になりますが、今まで支えてくださった学校の先生方やオリンピック事務局の方々、家族、友達に心から感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

惜別 「女ボブ・ディラン」旅立つ


2021年7月4日逝去

中山ラビさん（19G 在学時 榎本ひとみ）

歌手・ほんやら洞オーナー

「女ボブ・ディラン」と呼ばれ、LPレコードを何枚も出し、70年代初頭からフォーク界を中心に名を馳せた中山ラビさん。彼女が武蔵の卒業生で、しかも同期の19回生と聞いたのは、いつ頃だったか。彼女と英語のY先生とのロマンスも耳に入ってきた。Y先生は後年、翻訳家・中山容として大成されたが。

ラビさんを直接知ったのは2007年のホームカミングで、彼女がゲストとしてスイングホールのステージに立ったときからだ。金髪に黒のキャミソールにミニスカート、破けた黒いストッキングに赤いハイヒール。年齢を感じさせないスタイル、それに声だった。

その後、ラビさんと電話で話すことがあり、互いに30代後半で子供を産んでいるとわかって話が弾んだ。高校時代はジャズ喫茶に入り浸っていたということも聞いた。国分寺のほんやら洞へも何度か行くようになったが、いつも「みどりちゃん、こっち!」とカウンター席をあけて座らせてくれた。たいてい彼女はかいがいしく料理を作っていて、新作の味見をさせてくれたりした。名物の野菜カレーを食べたこともあり、おいしかった。ラビさんは料理の合間にたばこスパスパ、お酒ガボガボ。楽しそうだった。

吉祥寺のスターパインズカフェのコンサートにも何度か行った。店の前は長蛇の列で会場は熱気ムンムン。ミュージシャンの楽器を調整する音や客席の話声が消えると、ラビさん登場。最初は内気な少女のように伏し目がちに歌いだすが、一曲歌うごとにボリュームが上がる。観客も一挙に盛り上がる。ラビさんは歌う。つぶやくように、気だるげに、叫ぶように、しゃがれ声で....。「川に沿って～♪」と歌いだせば歓声があがり、拍手が起きる。「グッバ～イ上海～♪」と歌えばそろそろ終盤か。「飛んで来て鳥になって～♪」の歌詞の哀切な響き。最後に何度も「アンコール!」の声がかかる。気が付けばラビさんが立っていた場所にオレンジ色の火柱が立っているようだった。すごいオーラだった。

今ごろラビさんはどうしているだろう。Y先生とお酒を酌み交わしているか、高田渡とギターかき鳴らしているか、それとも上海の空を鳥になって飛んでいるのだろうか。

（19D 野口みどり）

お元気ですか　会員・教員の消息

「元気にやっています」

20回C組　鈴木信生



先日、有志13名による初めてのオンラインクラス会に参加しました。卒業後50余年でお互い外観は多少（?）変わっていても、話し始めるとすぐに昔の武蔵の教室に戻ったようでした。同じ仲間と過ごした3年間での絆は、今でもしっかりと結ばれていることを強く感じました。また、バスケット部では、遅いながらも一生懸命走り回り、体力を培いました。これら武蔵での3年間が今の私の原点になっています。

会社在職中は、休日はスポーツや農作業に明け暮れていましたが、定年前の5年間は関西に単身赴任したため、休日は業務に関係した「労働安全・衛生コンサルタント」（厚生労働省所管の国家資格）の資格取得に励みました。現在はこの資格を活かして、行政や各種企業の労働安全衛生活動の向上に向けてお手伝いをしています。

近年、予想に反して（?）年々仕事量が増加していますが、これは働く人の安全や健康管理に向けての取組が社会全体に高まっているということで、良い傾向と考えています。現在は、（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会の副会長として、微力ながら厚生労働省や農林水産省の安全に関する専門家会議などにも出席させて頂いています。このように定年間際の単身赴任がきっかけで、私の定年後の人生は大きく変わりました。

また、減農薬・有機肥料の「ノブファーム」も以前と変わらず季節の野菜類（約40品種）を栽培し、少しずつではありますが、毎朝地元のJA直売所に出荷しています。ところで、私の健康（体力）のバロメータはジョギングです。地元の青梅マラソンでは40回以上完走しており、タイムをグラフ化すると体力（走力）の変化が一目でわかります。30歳台半ばをピークにして徐々に低下はしてきましたが、65歳頃からの急激な落ち込みには自分でもびっくりしています。これからも好きなスポーツにより健康管理に努め、健康寿命を一年でも延長させるよう取組みながら、いろいろと人生を楽しみたいと考えています。

「凸凹の人生」

34回G組　春口巌



都立武蔵高校を卒業してもう40年も経つというのは驚きです。皆様お元気でしょうか？私は現在大学でコンピュータグラフィクス（CG）を中心に教えており、学外では芸術科学会の会長を務めています。

日本に初めてCGの技術がアメリカから入って来た時に、その技術が扱える人を育てようという考えで創立されたCG-ARTS（巷での活動が認められ、後に内閣府の下で活動するようになる）と共にCGの普及に努めてきました。

CGは今やスマートフォンの画面にも使われており、皆さんも毎日接している技術ですね。大学の研究室ではCGを応用したVRのゲームを制作する学生たちもいて、コロナ禍にあった昨年は私の監督下でバーチャルの学園祭も制作されました。

今の世の中はメタバースへ向かっていて、ますますCGで作られるバーチャル世界と現実世界が接近してきていると感じています。人生は山あり谷ありと言われますが、私も平坦ではない人生を歩んできました。本当に楽しいことの多かった高校生時代は懐かしく思っています。高校卒業後は、2年も浪人した後に東京大学に進学する一方で、両親の離婚と共に母の旧姓に合わせて苗字を変えました。

教員になる以前はソフト開発会社でCGのソフト開発をしており、そこで知り合ったアメリカ人は、今はディズニーで働いていて、最近の作品では「ラーヤと龍の王国」のエンドクレジットに名前が載っていました。

また、私と一緒にアメリカのCG学会に参加した学生が卒業後にリドリー・スコット監督の映画の特撮に参加していたり、武蔵野市にあるCG制作会社オレンジで働く卒業生はアニメ制作で活躍しています。

私自身も音楽活動でディスククラシカというレーベルのオーディションに合格してCDアルバムをリリースさせていただきました。

人生は1回しかないのですから、トライして何が悪いという気持ちで、私は自分がやりたいと思うことを追い求めてきただけですが、それと共に様々な困難にも遭いました。私はいろいろなことをやりたくなる人なので、それに比例して困難も多いのかもしれません。

皆様も様々な人生を送っておられるとお察しいたします。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

お元気ですか　会員・教員の消息

「島根県にIターンしました」

52回G組　板井（橋本）恵子

このたびは、このような機会を与えてくださいましたことに深く感謝申し上げます。卒業生や先生方の消息を…ということで、ありふれた人生で恐縮ですが、高校卒業後から現在の様子をお話しさせていただきます。

高校卒業後は獣医大学に進み、その後、島根県にある家畜診療所に就職しました。職場で29年ぶりの女性獣医師採用とのことで、農家の皆さんも戸惑いがあったかと思いますが、今もこの仕事を続けていられるのは、温かく迎えてくれた職場の先輩や根気強く成長を見守ってくれた農家の皆さんのお陰です。

就職して4年目に結婚をしました。主人はIターンで酪農を始めたばかりで、軍資金もなく、地元の方との信頼もまだ構築できていない状況でのスタートで苦労が多かったと思います。たくさんの方に支えられ、こつこつとした仕事で少しずつ土地に馴染んでいき、最近では、地元の方から牛の堆肥を分けてくれと声をかけていただけるようになりました。息子が一人おりまして、生まれた病院から退院してまず訪れたのが、家ではなく牛舎だったというくらい、牛に囲まれた生活の中、マイペースにたくましく成長しています。

このようにのびのびと田舎で生きる今の自分があるのは、自由と自主性を尊重し、ありのままの存在を認め合える仲間に恵まれた武蔵高校での生活が大きく影響しているのかなと、今になって思います。同窓会が中止になった一方で、ZOOMによるクラス会が開催され担任の吉田登代子先生をはじめ懐かしい仲間と昔話に花を咲かせました。高校時代と変わらぬかざらない会話に、やっぱり武蔵の仲間はいいなあと心が温かくなりました。

新型コロナウイルスが日本で感染拡大して丸2年が経過しました。コロナ禍の中で高校生活を終える学生の方がいると思うと胸が苦しくなります。でも、きっと武蔵生ならどんな境遇も人生の糧にし、自分らしく生きていける、そんな学生生活を送っていることと思います。



「武蔵の思い出」

国語科　渡辺美穂



手元に「絆―ユイマール」という題の冊子があります。武蔵高校63期生の修学旅行資料集です。3泊4日の沖縄への旅、事前学習のレポートや現地での体験・感想をまとめた冊子は、10年以上たった今でも楽しかった4日間を思い出させてくれます。

武蔵に赴任したのは平成20年の春、その後6年間お世話になりました。有名な進学校、受験一色の生徒だと大変と思いましたが、何にでも前向きに取り組む生徒が多く、ほっとしました。

担任した63期は、勉強や部活はもちろん、行事に熱心な学年でした。演劇や迷路作りに熱中した文化祭。リレーに燃え、新記録を目指し大縄跳びの練習を重ねた体育祭。戦争、歴史、自然など多くを学んだ修学旅行。生徒達と充実した日々を過ごしました。部活動はバドミントン部。実技経験のない新しい顧問に「大丈夫、練習は自分達でやります。試合だけは顧問必須なので引率をお願いします。」と当時の部長は言いました。まずは練習に顔を出すことからという素人が顧問を続けられたのは、練習から試合まで自主的に活動する姿勢を部員が持っていたからだと思います。中高一貫の一期生入学の時期で、中高どうやって一緒に活動するか話し合ったのも懐かしい思い出です。

学外にむけては「源氏物語」の公開講座を開き「桐壺」「若紫」などを読みました。純粋に物語の世界を楽しもうという受講生の方々と勉強する体験は、古典の魅力を再認識する貴重な機会となりました。

現在は井草高校で2年生を担任中です。昨年定年を迎えましたが、学年途中のため再任用で仕事を続けています。コロナで制約のある中、授業、部活、行事と熱心に活動する生徒を見ると、若人のパワーは素晴らしいと感じます。武蔵でもコロナに負けず、生徒さん達がパワーを発揮していることと思います。在校生と同窓生の皆様の益々の御活躍と、武蔵の発展をお祈りしております。

ホームカミングデイ お便りコーナー

コロナ禍のため今年もホームカミングデイが開催できませんでした。そのため、昨年に続き対象年次であった34回生(1982年卒)の幹事の皆さんと担任の先生から楽しいお便りを送っていただきました。ホームページにも掲載しています。なお54回生(2002年卒)からはお便りがありませんでした。

齋藤洋二(34A) いまソウルで仕事をしていますが、正月に一時帰国した際にA組で集まりました。コロナのせいで参加者は少なかったですが、60歳を少し前にして、最近忘れっぽくなった～(笑)というような話で盛り上がりましたが、語学など新しいことにチャレンジしてる人もいて力を貰いました。やはり高校のクラスメートと会うのは楽しいですね!!!



佐野中哉(34B) 毎年1月にこの仲間達と新宿で宴を開いています。この日も会食後、カラオケでオフコース歌いまくりでした。もうおわり～だね！ 写真の女性軍はユーミンのコンサートin苗場にチョイチョイ行っているようです!! 恋人はサンタクロース。



佐藤勝彦(34C) 高校卒業以来、毎年1月3日に同期の麻雀好きメンバーと、武蔵境にある雀荘さくら(旧中田)に集まっています。毎年12人から16人ぐらいが集まります。もう40回ぐらいになるかと思いますが、この2年間はコロナ禍で残念ながら実施できておりません。もうすぐ60歳になりますが、おかげさまで皆元気です。私は趣味のマラソンや多言語活動を楽しんで若さを保っています。早くコロナが落ち着いて、皆と卓を囲みたいと思っています。写真は、猫ひろしと。



西康・久場和子(34D) 当日は雪の予報で開催も危ぶまれましたが、何とか17名集まることができました。会えばすぐに高校時代の頃に戻って話に花が咲きました。次は60歳で集まりたいと思っています！ 写真は、2019年2月9日55歳クラス会(新宿にて)



伊藤智義(34D) 入学したのは1年前で是枝監督と同じクラスでした(親しくなる機会はありませんでしたが、活躍ぶりに刺激を受けています)。入学早々結核で入院し、休学となりました。在校中は年下の同級生に良いところを見せたいと密かにシナリオを書き続けました。高校生作家の夢は叶いませんでしたが、大学生のときに運良く集英社ヤングジャンプ誌で原作者デビューができました。もともとは科学者になりたくて、現在は千葉大学に務めています。



坂田敬一先生(E組担任) 70代の私にとってはコロナ過における活動制限が丁度良い?! 毎日の朝夕柴犬の散歩と月1·2回のゴルフ。雪が降るとスキーへ、3月からは渓流釣りへと遊んでいます。しかし、ここ2年海外は無理、国内でさえ予定がほとんど中止です。都心へ出かけることさえ恐る恐る出かけています。コロナ前の2019年には今泉先生(国語)達とカナダへスキー旅行。1日40～50km滑っていました。今、一番残念なのは3Eの皆さんとワイワイ集まることができないことです。(写真は2019年にカナダへスキー旅行に行ったときの、カナダウイスラーの写真で、右から2人目が私です。)



石川慶子(34E) 危機管理を専門とする広報コンサルタントとして仕事をしています。企業のリスクを洗い出し、危機管理マニュアル作成、危機発生時の模擬記者会見をします。Yahoo!でも時事ネタ中心に記事配信。著名人の記者会見、表現力の課題、改善方法について説明しています。コロナ禍の昨年からはYouTubeも始めました。表現リスクを専門としているので自分の訓練も兼ねています。伝えるって案外難しいから日々修行かな。



ホームカミングデイ お便りコーナー

井上香織(旧姓竹村)(34F) 2014年の学年同窓会での再会以降、F組女子有志で毎年夏に信州方面へ出かけ、同級生の「ポジャギ」作家・田口睦さんの展示会とワークショップを楽しんでいます。おしゃべりしながらの手作業は、さながら文化祭の準備のよう。老眼と戦っていても、気分は女子高生です。長引く自粛の日々、リモートでは味わえない、あのにぎやかで楽しい時間が待ち遠しい今日この頃です。





藤牧幹晴(34G) 母校を卒業してから早40年近くの歳月が流れ、駅に降り立つとその変貌に驚かされます。様々な思い出の中の一つ、3年の文化祭が終わった後、皆で旧校舎渡り廊下付近にタイムカプセルを埋めたことが思い出されます。今となっては何を入れたかは記憶がうすいのですが、各々がイメージした数十年後の姿、希望を綴り封入したことと思います。タイムカプセルは今も地中に眠ったままなのか、同窓会などを通じあの頃と同じ気持で今の皆さんと楽しい時間が過ごせたらと思わずにはおられません。

神崎浩子(旧姓吉田)(34G) 地域活動する中で特殊詐欺被害の多さに驚愕、啓発活動を思い立ち、民生委員仲間とバンド結成！ サロンや介護施設を訪問して防犯ライブを展開中。印象的なスタイルとオリジナルソングが高齢者の皆さんの防犯意識を高めています（たぶん）『ボンボンロール』で情報発信中です。文化祭で培った“全力投球”は健在です!



手塚裕樹(34G) 写真は、2021年11月21日の2021年マスターズ甲子園東京大会の武蔵高校野球部OBの参加メンバーです。最年長の私は7回に志願登板しましたが2失点。無得点に抑えて攻撃に向かわなければいけないところ粘れませんでした。今年も参加出来るよう体を鍛えます。





向田恵美(34G) 40代からピラティスを始めて丸10年。その間にインストラクター資格を取得、レッスン受講回数も2000回迄あと一息になりました。10代の頃より今の方が動ける身体であることに我ながら驚いています。継続は力なり。

野澤玲子(34H) 卒業時のクラス会はよく行われますが、7年前から元1年B組もクラス会を開催しています。レストランでの会食は毎回結構盛り上がり、その後有志で旅行も企画され、伊東、和倉温泉、京都、清里、草津温泉と続いています。（元B 石若・野澤）」（写真2019年12月草津温泉旅行、撮影者34G藤巻氏）



石若・野澤・廣岡(34H) H組は2014年1月の50歳同窓会以降、ほぼ毎年クラス会を開催。思い出や近況を語り合い、次回幹事を決めて散会します。渥美先生は2019年3月ご逝去。最後の年賀状でも政治を憂い、入居施設に対して「お陰様で大体は満足した生活を送っております」と渥美節はそのままでした。7月のクラス会では18名が先生を偲びました。コロナ禍が収まり、元気に再会出来る日を楽しみに、お互い健康第一で過ごしたいものです。



細井聡子(34I) I組の皆さん、お元気ですか? 自分より若い人が増えていく中、同じ年齢を重ねていく同級生の存在は、心を温かくしてくれます。人生の相棒が元H組。仕事でお世話になっている方のご主人が元B組。武蔵高校とのご縁を日々感じています。

白川真澄(34I) 市立図書館に児童担当として勤務して10年になりました。お気に入りの絵本をぎゅっと抱えてカウンターにやってくる子ども達に支えられる毎日です。

清水淑子(34I) スーパーでフルタイムで働いて7年目です。自分に接客業が務まるのか不安でしたが、これがどうして中々楽しい（^^） もっと早くからこの仕事を始めていたら良かった～と思っています。

昨日・今日――近頃の私…

高女1回中組　斎藤禮子

画家の言葉

「芸術も自然も人間も動物も物も
家族も見知らぬ人も宇宙人も地球人も
みな大きなエネルギーでつながっていることを
思い出させてくれる
パワーあふれる絵をたくさん描きたい」



東京展・相模原芸術家協会・A .M .S.C.スペイン芸術家協会会員)元自由美術協会会員

最近の私



「**脳と蝶と大地の女神**」2020年スペイン・パジェ・デ・ロス・スエニョス財団の持つ日本美術館に永久収蔵

幼い頃は病身で寝てばかりいました。モーっと牛が鳴いている武蔵野に毎日走って通っているうちにだいぶ健康になったのでしょう。何年か気象研究所に勤めたのち、やはり画家になりたいと麻生三郎に師事し、3度の離婚、そして3人の子供を母子家庭で育てながら画家としての人生を送ってきました。8月で95歳になる今も元気で絵を描いて暮らしています。

2022年2月現在は、東京展主宰「関西展」に出品する小品「発掘された少年サチュルス」を描いています。私は常に大作と小品と複数の絵を同時並行して描いています。こういうのが描きたいとかああいうのが描きたいとかいうことはなく、出てくるものを書きます。大きな作品を描くには体力が入りますが、基本的に大作を多く描いてきた私にとって、小さいスペースでのバランス配分はまた別の難しさです。

また、何年か前から石油系を多く使う油絵の具だけでなく、健康や環境上の理由も考えて水彩やアクリル絵の具など新しい素材にも挑戦しています。これらが一緒に使えることもまた面白い発見でした。未だ使いこなしているとは言えませんが、新しいことに挑戦すること自体が喜びです。金銀の絵の具を自由に使いこなすことが目下の興味です。

この歳になると友人知人も次々亡くなっていくので、生命力溢れる絵を描きたいと常に思っています。そして私の画家人生を通じて根底にあるのは、女性が絵を描くことが贅沢だと思われて差別され苦労してきた、女性蔑視の国ということを感じてきたことへの闘いです。また、絵画協会の中で金銀の絵の具を使うことへの反対意見が出たりした、そういった縛りからの解放!を全て宇宙的な表現、黄色や赤など好きな色を散りばめた自由な表現に込めて昇華させたいと思っています。



「**れもん**」

【最近の画歴】

●2021年3月東京展主宰の「関西展」出品
●2021年4月国際美術誌「Art Maison International」創刊25周年特別記念号に2点掲載される。
※イタリアの美術評論家・美術館キュレーター、バスクアーレ・ディ・マッティオ氏「彼女は作品のテーマを通して“生きる”ことについて問いかけるのだ」
●2021年9月フィレンツエ国立美術大学の美術歴史学者による美術検証「ルネサンス時代のアートと現代美術の類似点と相違点について」に選出され「新時代の芸術家」の称号をもらう
●2021年9月東京展出品大作「赤い蝶とサソリ座」
●2021年11月~12月相模原芸術家協会展出品小品「脳と蝶と浮遊体プシュケ」

表紙によせて

作者紹介 高田明美さん（25回B組）



自画像

武蔵高校の伸びやかな校風の中で自由に育った
高校生活の思い出は私の宝物です。
今年の干支の「虎娘」は私のオリジナルキャラクター。
コロナ禍や戦争とつらい日々が続きますが、
猫科の自由な空気をまとって
虎視眈々とチャンスを逃がさず前に進みたいものです。

《PROFILE》

キャラクターデザイナー、イラストレーター、時々ジュエリーデザイナー。
“幸せ”を形にするお仕事をしています。

《略歴》

多摩美術大学グラフィックデザインを専攻。株式会社タツノコプロに入社。職業としてのキャラクターデザインを学ぶ。フリーになってからの代表アニメーション作品『うる星やつら』『魔法の天使クリィミーマミ』『きまぐれオレンジ☆ロード』『機動警察パトレイバー』『魔法のステージファンシーララ』等。アメリカ、香港、台湾で原画展開催。日本でも定期的に個展、グループ展を開いている。

お知らせ

6/3～12には「きまぐれオレンジ★ロード」の巡回展をマルイシティ横浜で、下旬には初夏の恒例となっている吉祥寺東急での個展『Angelic Moment VIII』を開催予定です。

高田明美オフィシャルホームページ
～Angels～ ➡

令和4年度　都立武蔵高等学校・附属中学校　異動者名簿

卒業生総数26,397名　住所不明者・物故者10,633名